

2(2) その他、特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果、世界的位置付けなど。(※評価年次報告「卓越した教育研究大学へ向けて」で報告する内容)

特筆すべき教育活動

情報リテラシー教育を支援するため、「東北大学生のための情報探索の基礎知識 基本編」を4,000部作成し、新入生2,500人に配布した。また、「東北大学生のための情報探索の基礎知識 英語版」を400部作成し、学内の新入留学生150人に配布した。さらに、後期の全学教育科目授業として図書館が中心となって「大学生のための情報検索術」を開講し、123名の受講があった。学生からの授業評価（「東北大学全学教育授業評価集計表」）でも「委員会平均」よりも概ね高い評価を得ている。大学図書館職員短期研修等への図書館職員の講師派遣を行った。

特筆すべき研究活動

東北大学機関リポジトリ (TOUR) のコンテンツの拡充を進め、Research and Education, Rare Collection 共に 10,000 件以上を登録した。TOUR には学位論文 200 件、博士学位論文の要旨と審査結果の要旨 17,000 件、紀要論文 9,900 件、学術論文 200 件をはじめとする約 27,000 件のコンテンツが登録され、毎月コンテンツに対して 20,000 件のアクセスがあった。TOUR のコンテンツの拡充に当っては、国立情報学研究所の次世代学術コンテンツ希望共同構築事業に応募し、外部資金 600 万円を獲得した。また、本学の学位論文等の登録推進のため、全 14 研究科と協議し、9 研究科から平成 19 年度提出の学位論文の電子ファイルの提供を受けることとなった。更に、大学情報データベースと TOUR との連携を図るための検討を行った。

特筆すべき社会貢献活動等

江戸東京博物館及び仙台市博物館において 100 周年記念展示「東北大学の至宝—資料が語る 1 世紀」展を開催し、附属図書館、博物館を始め各部局の所蔵資料を公開した。また、附属図書館の「漱石文庫」を中心とした 100 周年記念展示「夏目漱石展」を江戸東京博物館及び仙台文学館で開催した。入場者数は約合計 14 万人で、「夏目漱石展」では約 660 万円の収入があった。展示会として成功したばかりではなく、本学及びその所蔵コレクションの知名度の向上に多大の貢献ができた。